

科目名	放射線腫瘍学			分野・必選別・単位数	専門科目	選択	2単位
担当教員	◎教授 古井 滋 教授 鈴木崇彦 教授 大谷浩樹 准教授 太田 樹			配当コース	医学物理士コース	科目ナンバー	T3C118
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	後期	授業方法	講義
授業の概要	腫瘍についての基礎的な理解をもとに、各組織の腫瘍について学ぶ。さらに各腫瘍についての放射線治療について学ぶ。						
授業の到達目標	①各腫瘍について概略を説明できる。 ②各腫瘍における適切な照射について説明できる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	古井 滋	教授	放射線治療の対象となる疾病の発生と進展に関する基本的事項について説明できる。			
	2	大谷 浩樹	教授	疾病の分類と病理診断について説明できる。			
	3	大谷 浩樹	教授	生命現象と病理総論について説明できる。			
	4	大谷 浩樹	教授	腫瘍の病理学的分類および形態と構造について説明できる。			
	5	鈴木 崇彦	教授	脳および脊髄腫瘍の病理について説明できる。			
	6	太田 樹	准教授	消化器系の腫瘍の病理について説明できる。			
	7	太田 樹	准教授	呼吸器系の腫瘍の病理について説明できる。			
	8	大谷 浩樹	教授	婦人科系の腫瘍の病理について説明できる。			
	9	古井 滋	教授	放射線治療の特色と基本構造、治療施設の基準構造、QAの在り方、有害事象について説明できる。			
	10	大谷 浩樹	教授	脳神経並びに頸頭部の腫瘍および治療について説明できる。			
	11	大谷 浩樹	教授	呼吸器における非小細胞肺癌、小細胞肺癌および治療について説明できる。			
	12	鈴木 崇彦	教授	早期乳癌に対する温存乳房照射、進行乳癌および治療について説明できる。			
	13	太田 樹	准教授	消化器における腫瘍および治療について説明できる。			
	14	太田 樹	准教授	泌尿器における腫瘍および治療について説明できる。			
	15	太田 樹	准教授	婦人科並びに小児における腫瘍およびその治療について説明できる。			
	16	太田 樹	准教授	骨軟部並びに造血器における腫瘍およびその治療について説明できる。			
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	該当期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	Radiation Oncology Physics (IAEA 2005)						
参考書							
成績評価の方法および基準	レポート50%、授業内課題50%						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中で解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						